

平成20年第3回

三重地方税管理回収機構議会定例会

会 議 録

三重地方税管理回収機構議会

1 期 日 平成20年8月6日(月)午後4時00分開会

2 議会会議場所

三重県庁舎 2階 特別会議室

3 出席者

議員 1番 柏木 廣文

議員 2番 亀井 利克

議員 3番 木田 久主一

議員 5番 下村 猛

議員 6番 佐藤 均

議員 7番 奥山 始郎

議員 8番 長谷川 順一

4 欠席者

議員 4番 河上 敢二

執 行 部 (事 務 局)

管 理 者	田 中 亮 太 (龜 山 市 長)
監 查 委 員	木 田 久 主 一 (鳥 羽 市 長)
事 務 局 長	坂 井 清
總 務 課 長	谷 口 久 美
徵 収 課 長	和 田 嘉 則
徵 収 課 主 査	越 川 靖 之
徵 収 課 主 事	谷 水 貴 志

三重地方税管理回収機構議会定例会議事日程

議事日程

平成20年8月6日(水)午後4時00分開議

「議事日程」

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の件

日程第3

議案第1号 平成19年度三重地方税管理回収機構
一般会計歳入歳出決算の認定について

議案第2号 三重地方税管理回収機構に係る負担金の額について

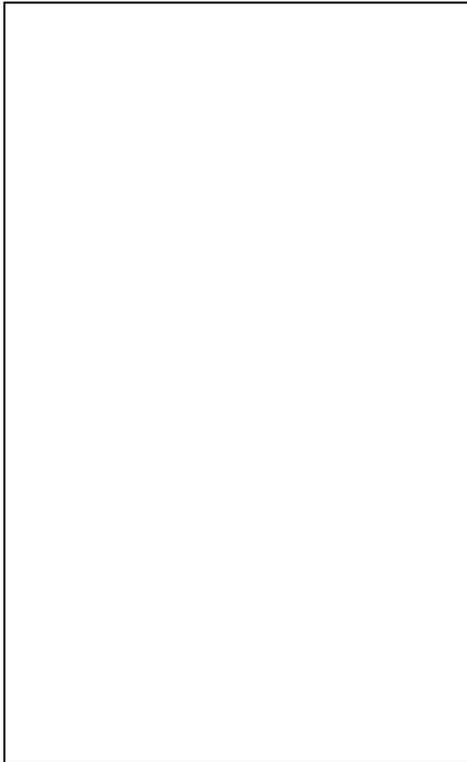
議案第3号 平成20年度三重地方税管理回収機構
一般会計補正予算(第1号)について

議 会 議 席

書 記 書記長



議 長



柏木議員

木田議員

下村議員

奥山議員

機構管理者

亀井議員

河上議員

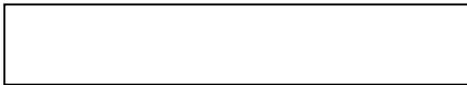
佐藤議員

長谷川議員

記者席

傍聴席

事務局長



徴収課長

総務課長

入 口



平成20年第3回 三重地方税管理回収機構議会定例会

定例会議事録

議長(柏木廣文議員) 「それでは、ただ今から議会定例会に入らせていただきたいと思います。

ただいまの出席議員は 7 名でございます。

定足数に達しておりますので、会議は成立をいたしましたことになります。

それでは、これより平成20年第3回三重地方税管理回収機構議会の定例会を開会いたします。

それでは、本日の会議に入りたいと思います。

はじめに、本定例会の書記として、越川靖之徴収課主査、谷水貴志徴収課主事を任命して、議事進行を補佐させたいと思います。

次に、日程に先立ち、地方自治法第121条の規定によりまして、出席を求めた者の報告でございますが、これは、本機構の田中亮太管理者をはじめ、お手元にお配りしてあります「報告」に記載のとおりでございます。

次に「議事日程第1」の会議録署名議員の指名でございますが、会議規則第60条の規定によりまして、下村議員、佐藤議員のご両氏を指名いたしたいと思います。

会期の決定でございますが、「議事日程第2」会期の件を議題といたします。

お諮りいたします。本定例会の会期は、本日1日といたしたいと思いません。 ご異議ございませんか。」

(「異議なし」の声あり。)

議長(柏木廣文議員) 「ご異議なしと認め、会期は、本日1日限りと決定をさせていただきます。

次に 議案第 1 号平成19年度三重地方税管理回収機構一般会計歳入歳出決算の認定でございます。議題とさせていただきます。

執行部側から議案が提出されておりますので報告をさせます。

越川書記長。」

書記長(越川靖之君) 「はい。議案第1号について、報告いたします。

平成19年度三重地方税管理回収機構一般会計歳入歳出決算の認定について、平成19年度の三重地方税管理回収機構一般会計歳入歳出決算は、歳入の収入済額2億8,580万58円、歳出の支出済額は、

1億6,432万2,527円であります。

実質収支額は、1億2,147万7,531円となりました。以上です。

議長(柏木廣文議員)「それでは提出議案について、執行部側から説明を求めます。

坂井事務局長。」

事務局長(坂井 清君)「議案第1号 平成19年度三重地方税管理回収機構一般会計歳入歳出決算の認定について、ご説明申し上げます。

先程の全員協議会にて、決算書の詳細についてご説明を申し上げますので、概略についてご説明申し上げます。

決算書の1ページをお開き下さい。歳入の収入額の合計は、2億8,580万58円で、2ページの歳出の支出済額の合計は、1億6,432万2,527円であります。

歳入歳出差引額1億2,147万7,531円は、次年度に繰越を行ないました。

次に、3ページの歳入歳出決算事項別明細書を説明いたします。歳入では、予算現額と調定額、収入額を見比べていただきますと、款1の分担金及び負担金については、移管事案件数が731件であり当初予算の940件の見込み件数より209件分少なく、3,553万円少ない収入済額となりました。この移管事案件数の209件分は、処理件数割額の精算により市町に返還し、歳入合計でも予算現額に対して調定額、収入済額が少なくなっております。

次に、事項別明細の内容を説明いたします。

歳入では、款1分担金及び負担金は、市町負担金として均等割額290万円(29市町分)、移管事案引受件数731件分の処理件数割額として1億2,427万円、17年度徴収実績本税分の10%の徴収実績割額として7,641万7千円の合計2億358万7千円となりました。

5ページをご覧ください。

歳出では、不用額の多かった主なものを申し上げます。

款2の総務費は、5,705万4千円余の不用額となっております。

総務費項2徴税費の第1目税務総務費節19の負担金、補助及び交付金で4,011万8千円余の不用額となっております。目2賦課徴収費は1,660万4千円余の不用額となっております。

9ページの収支に関する調書でございますが、実質の収支額は、1億2,147万7,531円となっております。

よろしく、ご承認賜りますようお願い申し上げます。」

議長(柏木廣文議員)「局長の説明が終わりましたので、監査委員から審査意見のご報告を申し上げたいと思います。木田監査委員。」

監査委員(木田久主一議員)「議案書の11ページをご覧ください。平成20年7月9日に決算審査を実施しました。

決算審査対象は、平成19年度三重地方税管理回収機構一般会計歳入歳出決算書、同実質収支に関する調書及び同財産に関する調書を審査対象といたしました。審査の方法は、決算書及び決算事項別明細書、実質収支に関する調書並びに財産に関する調書に示された決算計数について正否を精査・確認するとともに、関係職員から聴取し審査を行ないました。

総括的意見としましては、地方自治法第233条第2項の規定に基づき、審査に付された平成19年度一般会計歳入歳出の執行状況等については、いずれも所定の様式に準拠して作成されており、その計数も関係諸帳簿と照合した結果、正確であることを確認いたしました。

以上ご報告申し上げます。

議長(柏木廣文議員)「ありがとうございました。監査委員の木田議員からご報告がございました。この議案第1号についてのご質疑がございましたら承りたいと思います。」

(「異議なし」の声あり。)

議長(柏木 議員)「はい、ありがとうございます。「質疑なし」とのご発言がございましたので、議案第1号につきまして質疑を終了いたしたいと思います。議案第1号 平成19年度三重地方税管理回収機構一般会計歳入歳出決算の認定ついて採決をいたします。

本案は執行部案どおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり。)

議長(柏木廣文議員)「ありがとうございます。ご異議なしの全員賛成でございます。

よって、議案第1号については、原案どおり可決されました。

次に「議事日程第3」の 議案第2号三重地方税管理回収機構に係る負担金の額について議題といたします。

執行部側から議案が提出されておりますので報告させます。

越川書記長。

書記長(越川靖之君)「はい。議案第2号について、ご報告いたします。

三重地方税管理回収機構に係る負担金の額について

三重地方税管理回収機構規約第12条第2項の規定に基づき、平成21年度本機構の経費に充てる関係市町の負担金については、下記のとおりとする。

- 1 均等割額 平成21年4月1日現在の関係市町1団体につき10万円、
- 2 処理件数割額 14万円に平成21年度に本機構が引き受けた事案件数を乗じて得た額、
- 3 徴収実績割額 平成19年度に本機構が徴収した本税、延滞金、督促手数料の実績額に10%を乗じて得た額。以上です。」

議長(柏木廣文議員)「機構側の説明をいたしたいと思います。
坂井事務局長。」

事務局長(坂井清君)「はい。議案第2号 三重地方税管理回収機構に係る負担金の額について、ご説明申し上げます。

本案は、平成21年度の本機構の経費に充てる関係市町の負担金を定めるもので、三重地方税管理回収機構規約第12条第2項の規定に基づき、機構議会の議決を経て均等割額・処理件数割額の単価及び徴収実績割額の率を決定するものでございます。平成21年度市町負担金として、均等割額につきましては平成20年度と同額とさせていただき1団体10万円、処理件数割額としまして1件当たり14万円、徴収実績割額の率として平成19年度の本税、督促手数料および延滞金の徴収金額全額の10%とさせていただきたいと考えております。

この、平成21年度の市町負担金については、県内市町の代表者11名からなる運営検討会において協議を行い、その検討結果として本案とすることで一致し、本機構議会定例会に提案をいたしました。

よろしくご審議のうえ、議決を賜りますようお願い申し上げます。」

議長(柏木廣文議員)「はい、ご苦労さん。説明が終わりましたので、これより、議案書の議案につきまして、ご質問がございましたらどうぞ承りたいと思います。」

(「異議なし」の声あり。)

議長(柏木廣文議員)「ありがとうございます。質問なしとして、質疑を終了いたしたいと思います。

これより、議案第2号の三重地方税管理回収機構に係る負担金の額について、採決をいたしたいと思います。

本案は執行部原案どおり決することにご異議ございませんか。」

(「異議なし」の声あり。)

議長(柏木廣文議員)「ありがとうございます。異議なしと認めます。

よって、議案第2号の三重地方税管理回収機構に係る負担金の額については、原案のとおり可決されました。ありがとうございました。

次に「議事日程第3」の議案第3号 平成20年度三重地方税管理回収機構一般会計補正予算(第1号)について議題といたします。

執行部側から議案が提出されておりますので報告をさせます。

越川書記長。

書記長(越川靖之君)「はい。議案第3号について、報告いたします。

平成20年度三重地方税管理回収機構一般会計補正予算(第1号)について。

平成20年度三重地方税管理回収機構の一般会計補正予算(第1号)は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算の補正)

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4,147万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれに2億9,915万7千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

「提案理由」

三重地方税管理回収機構の平成19年度歳入歳出一般会計決算において、歳計剰余金が発生し、一旦、繰越金として補正予算に組み入れた。以上です。」

議長(柏木廣文議員)「はい、ご苦労さんです。引き続き、機構側からの説明を求めます。

坂井事務局長。」

事務局長(坂井 清君)「はい。第3号 平成20年度三重地方税管理回収機構一般会計補正予算(第1号)についてご説明申し上げます。

このことにつきましては、平成20年度当初予算において8千万円の繰越金を想定しておりましたが、それを上回る剰余金の発生がありました。それに伴い繰越金4,147万7千円を補正予算として計上いたしました。よろしくご審議のうえ、議決を賜りますようお願い申し上げます。」

議長(柏木廣文議員)「はい、説明が終わりましたので、ただ今より議案第3号平成20年度三重地方税管理回収機構一般会計補正予算(第1号)について、ご質疑を承りたいと思います。」
(「異議なし。」の発言あり。)

議長(柏木 議員)「ありがとうございます。質疑なしとのご発言でございますので、本案の質疑を終了したいと思います。これで議案第3号について、質疑を終了いたします。これより、議案第3号の平成20年度三重地方税管理回収機構一般会計補正予算(第1号)について採決をいたします。本案は執行部原案どおり決することにご異議ございませんか。」

(「異議なし」の声あり。)

議長(柏木廣文議員)「ありがとうございます。全員異議なしと認めます。よって、議案第3号平成20年度三重地方税管理回収機構一般会計補正予算(第1号)については、原案どおり可決されました。本当にありがとうございました。」

以上をもちまして、今定例会に付議されました案件については、すべて議了いたしました。

最後に、管理者の挨拶をお願いします。」

管理者(田中亮太君)「本日、平成20年の第3回三重地方税管理回収機構議会定例会にご参集いただき、そして、提出議案を承認をいただき誠にありがとうございます。」

ご承知のとおり、三位一体の改革による地方への税源移譲が昨年度から本格的に実施され、地方税の重要性と、これが以前にも増して高まってきてあるところでございまして、より一層、税收確保の取組みを強化していくことが求められているところでございます。

こうしたなか、回収機構も今年目を迎えておりますが、このなかで、徴収率、先ほど説明申し上げましたように、実績を上げているところでござい

ます。機構が設立以来、県内で設立前の平成15年度で全体で89.6%でありましたのが、徴収率が、平成18年度では1.5%アップの91.1%に、現在、市町村の徴収率が上がっております。

何と申しましても、各市町の職員方々のご努力が第一にあり、それと同時に機構の存在もやっぱりそれぞれの市町との取り組みのなかで、さらに上昇の要因も作っているのでは、こういう風に私も考えております。これからは、回収機構の職員の皆さんは各市町より派遣していただいておりますけれども、協力しながら実績をあげていく、また、職員のそれぞれの資質の向上と、これがねらいどおり動いていると言ってもいいところでございますけれども、さらに、それぞれのみなさんのところの財政運営に少しでも向上させていきたいとの所存でございますので、どうぞ、議員の皆様方にもご支援とご協力をお願い申し上げまして終わりにあたりましてのご挨拶とさせていただきたいと存じます。

ありがとうございました。」

議長(柏木廣文議員)「どうも 先生ありがとうございました。

それでは、これをもちまちして、定例会を閉会させていただきます。

ご協力ありがとうございました。」